

実行力を3倍高めるランチェスター時間戦略 CD-R

これまで経験したことがない、国難とも言える厳しい現実と直面したことで、今後業績が悪くなる会社が多くなるばかりか、倒産も多くなると思われます。とにかく今迄の不況とは事情が違っています。

この難局を乗り切るには、会社のリーダーである社長の実行力を大いに高めるしかありません。そしてこの実行力で、改善が必要と思われたものは直ちに改善して実行に移ります。迷ったり考え込んでいる余裕はありません。

ではその手順について説明しましょう。

1. 社長が実行力を高めるには科学的問題解決法に従い、まず実行力を構成している「大事な要因」をはっきりさせる必要があります。競争の法則と呼ばれているランチェスター法則を応用すると、社長の実行力は「仕事の質×投入する時間量²」で表わされます。これはエネルギーの法則と同じになるので、実行力は社長が作り出す「人的エネルギー」になるのです。
2. 次は、2つのウェイト付が必要になります。今の式を微分すると最適値が出、それは仕事の質が「33%」に、仕事に投入する時間量は「67%」になります。時間は質の2倍のウェイトを持っていますが、質を高めるには「そのこと自体」に多くの時間があるからと考えて下さい。
3. このあと、2つのレベルの高め方を考えることになります。
4. 質を高めるには、まず社長が責任を持って担当すべき「仕事の内容」をはっきりさせなければなりません。そしてこの内容は、従業員10人、30人、100人の節目で変わりますが、14項目ほどあります。このあと14項目の質の高め方を考えて学習に取り組むと、社長の質が高まります。
5. 次は実行力の67%を占める、仕事時間を拡大することになります。しかし無計画に仕事時間を拡大すると長続きしないばかりか、悪くすると体をこわしてしまいます。こうならないためには根拠がある仕事時間の拡大が必要になり、これにはランチェスター法則の研究から出てきた「必勝と圧勝の法則」が役立ちます。

この教材は社長の実行力を3倍高め、現在の難局を乗り切る方法について説明しています。日頃自分の経営実力を高め、従業員や同業者から注目される立派な社長になりたいと考えている人には、最適な教材です。



竹田 陽一

ランチェスター経営(株)
竹田 陽一



TEL 092-781-6122
FAX 092-781-6001